



志津 まちづくり通信

第12号

発行：平成27年3月15日
志津まちづくり協議会
(志津市民センター内)

〒525-0041
草津市青地町561番地

TEL・FAX 077-562-0047
HP:<http://kusatsu.or.jp/machikyoushizu/>

志津学区人口12,122人 男6,249人 女5,873人 (平成27年1月31日現在)

地域ふるさとづくり

「志津の歴史」と「自然の美しさ」発信事業 シリーズ6



追分町「八幡神社」 863年(貞観5年)に、鷹神天皇を追分の産土神として歓請し、八幡宮(追分)が建立された神社。

- 【祭 神】** 鷹神天皇
- 【創 祀】** 863年(貞観5年)
- 【境内末社】** 熊野神社・春日神社
- 【境外末社】** 野上神社

平成27年度「志津まちづくり協議会」事業日程(予定)

平成27年度の主な事業の日程(予定)は、下記のとおりです。地域の皆さまのご支援・ご協力をお願いします。

・定期総会	平成27年4月25日(土)	・志津ふれあい区民運動会	平成27年10月18日(日)
・敬老のつどい	平成27年9月21日(月・祝)	・志津ふれあい広場	平成27年11月15日(日)
(前後1週間：各町内会・自治会ごとに開催)		・志津学区自主防災研修会	平成28年1月23日(土)

丸亀市「飯山北コミュニティ推進協議会」視察研修！

志津まちづくり協議会は、「地域の課題は地域で解決すること」を基本に、「ふれあい 支え合い 住み続けたいまち」の実現に向けて、試行錯誤しながら様々な課題や事業に取り組んでいるところです。

このように、まちづくり協議会の運営が過渡期中、現市民センターは、平成29年4月から(仮称)地域まちづくりセンターとなり、各学区まちづくり協議会による指定管理制度が導入される予定で、まちづくり協議会としては、その具現化への取り組みが急務となっています。

このことから、志津まちづくり協議会では、「指定管理制度の取り組み」について役員の共通理解を図ろうと、昨年12月13・14日にかけて、香川県丸亀市の「飯山北地区コミュニティ推進協議会」に理事等17人による視察研修を実施しました。

当推進協議会は、平成18年に設立され平成20年4月



から飯山北コミュニティセンターの指定管理業務の委託を受けておられます。研修では、当推進協議会の役員12人の方に対応いただき、まちづくり計画やリーフレット、総会資料を基に取り組みや推進状況を説明いただきました。特に、今回の目的の指定管理制度については、指定管理の導入に向けての事前取り組みや人員体制・勤務体制、業務内容、メリット・デメリット、取組み段階での苦勞、市とのリスク分担など現在の状況や課題・問題点を教示いただきました。両協議会による活発な意見交流に、予定の時間はあっという間に過ぎ去り、今後の参考となる有意義な研修を終えることができました。

今後は、市から提示される指定管理業務の概要について、まちづくり協議会で協議・検討していきます。

(町内会長委員会：宇野 敬造)



★ボランティア募集！★

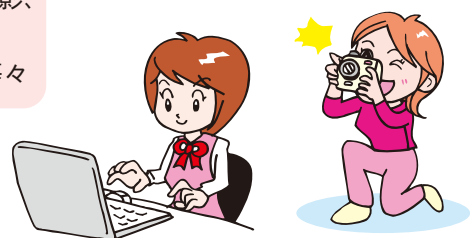
志津まちづくり協議会では、さまざまな分野において経験をお持ちの方で、年間を通じて地域活動に協力して下さるボランティアを募集します。写真を撮ることが好き！企画がしてみたい！記事を作ってみたい！などあなたがやりたいこと、得意なことを活かしてみませんか！

- ・「志津ふれあい広場」の運営を担うスタッフ（会議、企画、運営）
- ・広報紙「まちづくり通信」発行に関する作業（記事の企画、取材、撮影、紙面レイアウト、文章作成、校正、発送作業、地域へ配布）
- ・ホームページの作成（記事の企画、取材、撮影、文章作成、校正）、等々

気軽に志津まちづくり協議会事務局までお問い合わせください。

連絡先：志津まちづくり協議会（志津市民センター内）

TEL：077-562-0047





1月24日に志津市民センターの大会議室において「志津学区自主防災研修会」を開催しました。

当日は、草津市危機管理課、湖南広域消防局南消防署から計3人の方と、全12町内会・自治会代表など38人の参加を得て活動報告を発表いただきました。研修テーマを昨年の「水害」から「防火」としました。この研修会をより充実したものとするため、事前に各町内会・自治会に「自主防災組織の実態調査」をお願いし、過去2年分の実態調査を含めた3年間の推移を一覧できる研修資料（全13ページ）を作成し、当日の参加者に配布しました。

前半の各町内会・自治会の防災活動の発表では、先に配布した研修資料を使ってより詳しく発表され、また参加者からは多くの質問が出され、予定時間を超過する熱狂振りでした。

後半では、まず南消防署よりAEDの重要性と、続いてAEDの練習機を使った実演を交えて説明していただきました。志津まちづくり協議会では、各町内会の集会場にAEDを設置していただく補助事業を推進し



ていますので、熱心に聴いていただきました。

次に、草津市危機管理課より県指定の「土砂災害警戒区域」などについて説明していただきました。草津市内では、この土砂災害警戒区域として全部で17箇所が指定を受けていますが、その内の16箇所がこの志津学区に集中していますので、参加者も真剣に聴かれていました。

この研修を通じて参加者の皆様には、防火・防災に対する認識を新たにさせていただけたものと思います。また発表いただいた各町内会・自治会からご参加いただいた皆様に心より感謝いたしますとともに、災害に強いまちづくりの重要性を更に強く感じました。

(防災・防犯・交通部長：青木 光)

平成27年 第35回 「元旦マラソン」が 開催されました！



1月1日に、新春恒例の第35回元旦マラソンが小槻神社境内をスタート・ゴール(青地第二町内会周辺)として開催されました。当日は、非常に寒く冷たい風が吹きましたが、開催趣旨の『寒風について完走しよう』を合言葉に、小学生から高齢者まで、また外国の方の姿もあり、近年にはない106人と多数の参加をいただき、全員が完走しました。

約10年前には、この大会をステップにして、全国高校駅伝に滋賀県の代表で出場、活躍した選手もいて、関係者は嬉しく思っています。

大会役員の皆様には正月早々、ご協力いただきありがとうございました。



(志津地区体育振興会：奥村 弘)

第6回志津学区 ボーリング大会を開催！

1月25日(日)にアクトエースレーン草津において、志津学区ボーリング大会を開催しました。

参加者は、10町内会・自治会から約110人の参加があり、団体戦と個人戦において、それぞれ2ゲームで競いました。団体戦では、優勝が青地第一町内会、準優勝は笠井町内会、第3位は追分町内会といずれも素晴らしい成績を修められました。

参加者の皆さんは、和気あいあいの中にも、ゲームに夢中で、ストライクのたびに大きな拍手や連続ストライクの時には歓声上がるなど、ゲームを楽しむとともに日頃のストレスを発散することができました。



(志津地区体育振興会：奥村 輝雄)



わが町の活動状況



上尾町内会

上尾町内会は、現在102世帯で、世帯主の約3分の2が高齢者で、高齢化が進んでいる地域です。昨年は、町内会発足30周年を迎えることができました。この佳節を会員の皆様と分かち合おうと「ふれあいまつり」を4月12日に、隣接地のロクハ公園において開催しました。当日は、快晴で桜が舞う中、約100人もの方々に参加していただき、大正琴、ギター演奏、手品、歌謡ショー等を楽しむことができました。また、5年前に65歳以上の方のふれあいの場として「さくらサロン」を開きました。今では毎月2回参加者の皆さんには楽しくふれあい語り合う場として参加いただいています。今後も励ましあい、助け合う心を大切にしながら、地道に活動をしていきたいと思っています。



(上尾町内会長：鈴木 登)

ロクハタウン自治会

ロクハタウン自治会では、昨年に市の補助金、志津まちづくり協議会からの助成金をフルに活用させていただき、AED(自動体外式除細動器)を購入しました。AEDは、恒久的なものではなく、耐用年数6年間という限られた使用期限があります。AEDを使用するしないではなく、AEDを身近に感じていただき、誰にでも簡単に使用できる医療機器である事を経験を通していただけるように、自治会役員一同で知恵を出しあい、工夫をして、みなさんが参加しやすい勉強会を開いていきたいと思っています。



教育・文化部事業

志津わんぱく協働各校

第14回草津市子ども環境会議に出展しました！

1月31日(土)草津市役所において、第14回草津市子ども環境会議が開催され、志津わんぱく協働各校企画委員会では、昨年9月27日(土)に実施のデイキャンプにおいて作成した壁新聞5枚を出展しました。

この壁新聞は、「こんなものでご飯が竹るの？」のテーマで実施したデイキャンプを、参加した子どもたちがまとめたもので、いざという時、こんな道具があれば工夫してご飯が炊けることを絵や文字で分かりやすくまとめたものです。

この日、子ども環境会議に参加した子どもスタッフと役員は、出展されている市内の各小・中学校、企業などいろいろなブースを見学し、環境について学習する良い機会となりました。



「わくわくクッキング」を開催しました 何が入ってるのが楽しみ！

2月14日(土)志津市民センターにおいて、「わくわくクッキング」を開催しました。

小学4年生～6年生の子どもたち23人が、①ベーカステラ②クレープ③ピザ④お好み焼きの4つのグループに分かれ、わくわくするようなユニークなクッキングに挑戦しました。「どんな味になるの?」「こんなものもトッピングするの?」などの驚きの声や「おいしい!」という感激の声などが聞かれました。出来上がりはバイキング形式で試食会を行い、お互いが作ったものの感想を述べ合いました。また、今回の事業では、草津市で生産された野菜や米粉を使用するなど、「地産地消」や「草津市の食」についても学習しました。



(志津わんぱく協働各校 企画委員会：宮城 詠子)